

エストニア・タリン現地原子力セミナー開催

JICC はエストニア政府気候省(MoC)との共催で 2025 年8月 21日にエストニア・タリンの MoC の会議室で現地セミナーを開催した。

【経緯/目的】;

エストニアの原子力発電における基盤整備のための国際協力事業として、エストニア政府 MoC と協議の上、「両国のエネルギー政策、規制当局ライセンス、緊急時の備えと対策、発電所建設のリスク、BWRX-300 の許認可・建設の現状」をテーマにエストニア・タリンで現地セミナーを開催した。

【実施内容】;

セミナーには両国の専門家約70名の参加があった。エストニア政府 MoC が声をかけたエストニア政府内務省(MoI)、環境省(規制当局)、原子力発電プロジェクト会社(Fermi Energia)などのステークホルダーによる、各々の視点から講演があった。日本側からはエネルギー政策を METI 資源エネルギー庁、福島第一事故後のライセンスを JICC、発電所建設リスク分析を日本エネルギー経済研究所、緊急時対応訓練設備を有する JAEA/NEA の専門家による講演と、原子力発電建設に関するパネルディスカッションにより前向きな意見交換が行われた。

【成果】;

駐エストニア日本大使館 中村特命全権大使に開催の挨拶をいただくと共に、エストニアと日本の両国の専門家による有意義な情報交換を通してエストニアの原子力発電分野の基盤整備向上、両国の原子力発電分野における良好な関係維持に繋がった。

セミナー風景

